学校番号	T3017

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ａ	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	標準古典Ａ　物語選（第一出版）						
副教材等	無						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・選択科目です。高校最後の学年ですので、自分の学びのまとめの一つとして、国語の学びの「読む力」と「知識」を深めましょう。
・古典に親しむための基礎的な読解方法や知識を獲得すると共に、日本列島に住む昔の人の文化に触れることを意識して読んでいきましょう。
・予習や復習については特に指示はしませんが、家に帰ってから今日学んだことを少し思い出すぐらいの時間は持つようにしましょう。
・定期考査前には定期考査で特に復習してほしいことについて授業中にお伝えしますので、学習計画を立てて家庭でも少し復習をする時間をとりましょう。
・提出物については必ず提出するようにしてください。
・休まずに出席し、集中して授業を受けましょう。遅刻や欠席はしないようにしましょう。
・授業中は授業に集中しましょう。

2　学習の到達目標

古典を通して我が国の伝統文化に対する理解を深める。
古典に関心を持ち古典に親しむ態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む楽しさを味わい、古典に親しむとともに、我が国の伝統と文化に対する関心を深めようとしている。	まとまりのある古典を読み、古典に表れた思想や感情を捉え、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴などの理解を深め、知識を身に付けている
評価方法	出席の状況 授業の態度 行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	記述の確認及び分析 （ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査　小テスト等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
4 5	古文・説話（十訓抄・古今著聞集）	古文を読み、親しむ。	○			a:古文に描かれているものの見方や感じ方について感心を持とうとしている。	観察 ワークシート 定期考査
		古文を読む。 心情を理解する。 文法を確認する。		○	○	b:登場人物の心理を押えながら歴史的仮名遣いに注意しておおむね音読できている。	
6 7	古文・物語（竹取物語）	主題を考える。 心情を理解する。	○	○		a:主題について考えようとしている。 b:登場人物の心情を言葉にできる。	観察 ワークシート 定期考査
		頻出語を覚え、場面に応じて適切に訳す。	○		○	a:古文単語に興味を持つことができている。 c:場面に応じ、重要語を適切に訳せる。	
8 9	漢文・故事	古人のものの見方を考える。	○	○		a:古人のものの見方を考えようとしている。 b:登場人物の行動や言動を読み取れている。	観察 ワークシート 定期考査
		漢文の訓読の基本を確認する。			○	c:漢文の訓読の方法を理解している。	
10 11 12	漢文・三国志	三国志の原文に親しむ。	○		○	a:三国志の原文に触れて、さらに漢文学習を深めようとしている。 c:基本的な句法について理解している。	観察 ワークシート 定期考査
1 2	漢文・漢詩・諸子百家	漢詩の基本を確認する。 古人の思いを理解する。		○	○	b:詩から古人の思いを読み取り、説明できる。 c:漢詩の基本的な形式や表現方法を理解している	観察 ワークシート 定期考査
		古人の考え方を理解する。	○			a:古人の考え方を理解しようとしている。 c:漢文の訓読の方法を理解している。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:読む能力　　c:知識・理解